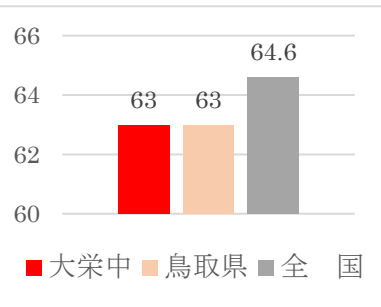




## 令和3年度全国学力・学習状況調査について

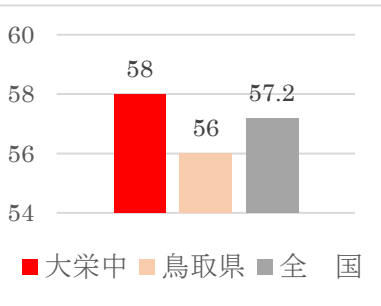
### <概要、分析及び考察、並びに方策>

国語は全国よりやや下回り、県とは同じ、数学は全国とほぼ同じ、県よりやや上回っている。



**【国語】** 領域別では「話すこと・聞くこと」「書くこと」において全国や県の平均を上回る半面、「読むこと」は県平均と同じだが、全国平均には下回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全国、県平均共に下回っている。

問題別で見るときは「伝統的な…」の領域で、電子メール文中の「随時」の意味の選択問題の正答率が、極端に低かった。この要因として、語彙の不足だけでなく、意味がよく分からない言葉があったとしても、前後の文章内容を吟味して推測する力が不足していると思われる。今後はICT等も活用して語彙を増やす取り組みとともに、丁寧に文章を読みながら、正確に意味内容を読み取る活動を大事にしていきたい。



**【数学】** 数学の「数と式」「図形」の領域で、正答率が全国・県と比べて下回っている。特に「図形」領域が全国平均に比べて下回っている。「関数」「資料の整理」の領域で正答率が全国・県と比べて上回っている。特に、「資料の整理」が全国平均に比べてかなり上回っている。

「数と式」の領域では「四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する」に課題が残っている。生徒の実態に応じたきめ細やかな指導をしていくことが重要である。かつ発展的な問題や難解な問題に対して「分かった」と実感できるよう生徒同士で説明し合っ

たり、粘り強く取り組んだりしていけるよう班の話し合いの場面の設定を工夫していきたい。

「図形」の領域では「四角形ABCEが平行四辺形になることを平行四辺形になる条件を用いて説明する」「錯角が等しくなることについて、根拠となる2つの直線の関係を記号を用いて表す」に課題が残る。日々の授業で再度確認して反復練習していく必要があり、数学的活動を丁寧に扱い、具体的な図形を示しながら用語を理解し、筋道を立てて説明できるよう、解法の仕方を確認していきたい。

### <生徒質問紙の結果について>

#### 【教科に関する質問：国語】

#### <肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目>

○国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。

#### <肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目>

- 国語の勉強は好きですか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか。

#### 【教科に関する質問：数学】

#### <肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目>

- 数学の勉強は好きですか。
- 数学の授業の内容はよくわかりますか。
- 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。
- 数学の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

#### <肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目> →ありませんでした。

#### <国語に係る考察、方策>

自分の考えを話したり書いたりする活動が充実していることを生徒が感じていることが分かり、この点については、授業の中で継続して取り組みたい。

半面、言葉を適切に解釈したうえで内容理解、それをもとにして自分の考えを深めることが不十分だといことが分かる。このあたりが結果分析の中の問題点につながっているといえそうで、対策としては前述の通りである。

よりいっそう生徒の興味関心を引く授業の展開を工夫したり、生活の場面での有用性を実感することのできるしかけを増やしたりしていきたい。

#### <数学に係る考察、方策>

1項目以外のすべての質問事項に対して肯定的な回答が全国平均を上回る結果になった。数学が普段の生活の中で役に立つと思ひ、授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている生徒が多くいる。また、最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合も全国平均に比べて高く、粘り強く解こうとしている様子が伺える。その一方で、質問事項「数学の勉強は大切だと思ひている」に対して若干ではあるが肯定的な回答が全国平均より少ないので、数学に対する関心や意欲を高めるような指導を意識していきたい。

## 【生徒の生活や意識に関する質問】

### <肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目>

#### 【家庭学習】

- 「計画を立てて勉強をしていますか」



#### 【自尊感情、自己肯定感】

- 「自分にはいいところがあると思いますか」
- 「将来の夢や目標を持っていますか」  
→一人ひとりの生徒が活躍できる場の設定や道徳教育の取り組み、進路学習やキャリア教育を中心に友だちとの関わりの中で、新たな自分を発見する楽しさを知り、自分に自信をもち、自分を好きになることができるようになってきている。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」  
→学校生活はもちろん、家庭や地域でのボランティア活動への積極的参加を促した結果、役立ち感を体験する活動が充実していると考えられる。

<花植え活動>



#### 【学校生活】

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」  
→規範意識が高い生徒たちであり、人権意識も高い。人のために行動する視野の広さも育てている。
- 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しているか」  
→失敗をすることより、挑戦しなかったことの方が後悔することや挑戦することの大切さを伝え続けたこと、例え失敗しても温かく見守ってくれる仲間の存在があるからだと考えられる。
- 「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」  
→学級での所属感が高く、活発に話し合い活動が行われていることが分かる。

<学級での話し合い>



#### 【ICT機器】

- 「学校で、ICT機器を、生徒と意見を交換したり、調べたりするために使いますか」
- 「学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

<タブレットを活用した授業>



#### 【地域とのかかわり】

- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」  
→地域行事の参加等、地域とのかかわりを積極的にもっている生徒が多い。

#### 【新型コロナウイルス】

- 「新型コロナウイルスの感染拡大による休校により、勉強についての不安を感じましたか」
- 「休校期間中、計画的に学習を続けることができましたか」  
→休校中も、課題を義務付け、その課題を計画的に進めた生徒が多くいたことが分かる。そのため、勉強に対する不安も少なくなったと考えられる。

### <肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目>

#### 【家庭学習】

- 「平日の勉強時間2時間以上」  
→全国平均よりかなり下回っているが、県平均はやや上回り、以前と比較して改善傾向である。また、「計画を立てて勉強をしていますか」が肯定的な全国平均をかなり上回っているため、短時間でも、計画的に学習を進めている生徒も多いと推察する。

#### <その他>

朝食については、「毎日食べている」が全国・県平均を上回っているが、個別指導により100%を目指したい。また、基本的な生活習慣が身につけており生活が安定している生徒が多い。

